

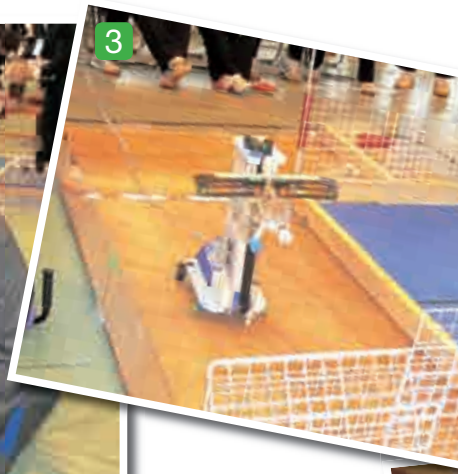
## アイデア 1st

## 「第7回長野県中学生ロボットコンテスト」

11月8日、長野県の千曲市立埴輪中学校において、「第7回長野県中学生ロボットコンテスト」が開催された。「アイデア1st」をキャッチフレーズに掲げ、勝敗よりもロボットを製作する段階で生徒達がどれだけ優れたアイデアを出し合いそれを形にしていくなかで、その過程を重視したコンテストだ。

さんがつ うきぎ  
三月 兎

主催：長野県技術・家庭科教育研究会、  
長野県中学生ロボットコンテスト実行委員会



### アイデアと技術を楽しく競う 「うおっと2008」

長野県中学生ロボットコンテスト(以下、N-robo)は、選択授業の技術・家庭科、または部活動の中で、ロボットを製作しながら機構学習や発想学習の基礎を学び、その成果を大会で披露するのが目的。1チーム4名前後の生徒が協力し、オリ

ジナルのアイデアでロボットを製作している。今大会には、県下各地36校229チームから選抜された128台が参加した。

今年の競技はペットボトルを魚に見立て、ロボットで釣り上げてより多くの魚を相手のいけすに放流する「うおっと2008」だ。2分間の制限時間終了時に、相手コート内に泳いでいる魚の総ポイント数が得点

となる。ロボットのサイズはスタート時に縦横900mm、高さ600mm以内と規定されている。電圧は6V、モーターは最大7個までという制限がある。

魚を放流する場所は、自コートと相手コートとの境にある金属製フェンスの上から、または左下にある隙間からと決まっている。競技開始前に、いけすにいる魚を口